

令和6年度電気技術者資質向上事業の実施結果

令和7年3月17日

「電気技術者資質向上事業」は、関係機関が実施を計画する電気技術者の資質向上を目的とする事業(以下、「資質向上事業」という。)を支援すること等により、当事業の着実な実施、さらなる普及・拡大等を通じて、電気技術者の資質の向上を図り、もって我が国の電気保安の確保に寄与することを目的に実施した。

令和6年度の事業実施結果は、次のとおり

1. 経過

令和6年4月1日～10月31日の間、当試験センターホームページで提案を募集したところ次の12件の申請があった。

・令和6年7月13日

次の4件の採択が適当とされた。

- ① 「令和6年度「高校生ものづくりコンテスト（電気工事部門）」第19回中国地区大会
島根大会」

(中国地区高等学校工業教育研究会 島根県高等学校工業教育研究会電気系部会)

- ② 「第23回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会」

(佐賀県立鳥栖工業高等学校)

- ③ 「高校生ものづくりコンテスト2024東北大会【宮城大会】[電気工事部門]」

(東北地区工業高等学校長会)

- ④ 「令和6年度 第23回高校生ものづくりコンテスト東海大会 電気工事部門」

(東海地区工業高等学校長教育研究会)

・令和6年7月18日

次の4件の採択が適当とされた。

- ① 「第24回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門」

(北海道工業高等学校長協会)

- ② 「第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」

(関東甲信越地区電気教育研究会)

- ③ 「第30回配電工事安全技能競技会」

(北陸電気工事組合連合会)

- ④ 「第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会電気工事部門」

(宮城県登米総合産業高等学校)

・令和6年7月31日

次の2件の採択が適当とされた。

① 「第24回高校生ものづくりコンテスト近畿大会（電気系部門）」
(近畿地区電気教育研究会)

② 「第4回電気工事技能競技東北大会」
(東北七県電気工事組合連合会)

・令和6年8月1日

次の1件の採択が適当とされた。

① 「第4回電気工事技能競技北海道大会」
(北海道電気工事業工業組合)

・令和6年10月4日

次の1件の採択が適当とされた。

① 「第5回電気工事技能競技全国大会」
(全日本電気工事業工業組合連合会)

2. 支援対象事業の実施結果

申請のあった12事業のうち11事業が実施された。

(1) 実施事業

① 「第24回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門」
(北海道工業高等学校長協会)

令和6年5月22日～23日に実施

② 「令和6年度「高校生ものづくりコンテスト（電気工事部門）」
第19回中国地区大会 島根大会」
(中国地区高等学校工業教育研究会 島根県高等学校工業教育研究会電気系部会)
令和6年6月14日～15日に実施 表1 参照

③ 「第23回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会」
(佐賀県立鳥栖工業高等学校)
令和6年7月13日～14日に実施 表2 参照

④ 「高校生ものづくりコンテスト2024東北大会【宮城大会】【電気工事部門】」
(東北地区工業高等学校長会)
令和6年7月27日～28日に実施 表3 参照

⑤ 「第24回高校生ものづくりコンテスト近畿大会（電気系部門）」
(近畿地区電気教育研究会)
令和6年8月14日に実施 表4 参照

- ⑥ 「令和6年度 第23回高校生ものづくりコンテスト東海大会 電気工事部門」
(東海地区工業高等学校長教育研究会)
令和6年8月24日に実施 表5参照
- ⑦ 「令第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」
(関東甲信越地区電気教育研究会)
令和6年8月24日に実施 表6参照
- ⑧ 「第4回電気工事技能競技北海道大会」
(北海道電気工事業工業組合)
令和6年9月7日に実施 表7参照
- ⑨ 「第4回電気工事技能競技東北大会」
(東北七県電気工事組合連合会)
令和6年10月12日に実施 表8参照
- ⑩ 「第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門」
(宮城県登米総合産業高等学校)
令和6年11月9日～10日に実施 表9参照
- ⑪ 「第5回電気工事技能競技全国大会」
(全日本電気工事業工業組合連合会)
令和6年11月27日～28日に実施 表10参照

(2) 中止事業

- ① 「第30回配電工事安全技能競技会」
(北陸電気工事組合連合会)
能登半島地震復旧応援、増員要請のため開催を中止

3. その他

令和7年度電気技術者資質向上事業募集要項は、別途、当試験センターのホームページに掲載します。

表 1

項 目	内 容
支援事業名	令和6年度「高校生ものづくりコンテスト(電気工事部門)」第19回中国地区大会 島根大会
目 的	中国地区高等学校工業教育研究会で取り組んでいる電気工事分野の学習効果の発表の場として、中国地区の各県から選抜された選手が技術・技能を競い合い、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、及び若年技術者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和6年6月14日～15日
開催場所	島根県立出雲工業高等学校
主 催	中国地区高等学校工業教育研究会 島根県高等学校工業教育研究会電気系部会
後 援	島根県教育委員会 島根県産業教育振興会 一般財団法人 電気技術者試験センター
実 施 内 容	①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成18年から毎年実施している大会であり、中国地区に属する5県が順番に開催地として大会運営に当たる。今回の大会は島根県で実施する。 ②参加選手の構成及び参加資格要件等 中国地区高等学校工業教育研究会に所属する各県の予選会を実施し、各県で選抜された2名、ただし開催県は4名の代表による。 ③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技☑) 技能競技:高校生ものづくりコンテスト全国大会の課題に準じて設定 競技時間110分 「競技規則」に従い、「施工図」、「施工条件」に示す電気設備の施工を想定した配線工事を行う。 ④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は、実際の電気工事の経験を持ち指導員として従事する外部技術審査員((株)中電工の技術者)を含めた計4名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格 ⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 優勝 1名(賞状、盾)、準優勝1名(賞状)、3位 1名(賞状)
参 加 者 数	競技選手人数:10名 審査員人数:4名 運営事務局人数:28名 その他:15名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部141千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 1

令和6年度「高校生ものづくりコンテスト（電気工事部門）」
第19回中国地区大会 島根大会

（中国地区高等学校工業教育研究会 島根県高等学校工業教育研究会電気系部会）

実施日：令和6年6月14日～15日



表 2

項 目	内 容
支援事業名	第23回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会 電気工事部門
目 的	公益社団法人全国工業高等学校長協会で行っている高校生ものづくりコンテストの電気工事部門で、九州各県から選抜された8名が技術・技能を競い合い、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、及び若年技術者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和6年7月13日～14日
開催場所	佐賀県立鳥栖工業高等学校
主 催	佐賀県立鳥栖工業高等学校
後 援	佐賀県教育委員会、佐賀県高等学校教育研究会工業部会
協 賛	一般財団法人 電気技術者試験センター
実 施 内 容	①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成12年から毎年で実施している大会(令和2年度のみ中止)であり、九州地区に属する都道府県が順番に開催地として大会運営に当たる。今回から2025年の大会までは佐賀県で実施する ②参加選手の構成及び参加資格要件等 九州地区に属する各県で県大会を実施し、各県で選抜された1名の代表による。 ③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技☑) 技能競技:第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会(電気工事部門)に準じて設定。競技時間120分。「競技規則」に従い、「施工図」、「施工条件」に示す電気設備の施工を想定した配線工事を行う。 ④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は、外部技術審査員(佐賀県電気工事業組合の技術者)を6名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格 ⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 第1位から第3位までを表彰(賞状、盾、メダルの授与)
参 加 者 数	競技選手人数:8名 審査員人数:6名 運営事務局人数:30名 その他:50名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部350千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 2

第 2 3 回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会電気工事部門

(佐賀県立鳥栖工業高等学校)

実施日：令和 6 年 7 月 1 3 日～1 4 日



表 3

項 目	内 容
支援事業名	高校生ものづくりコンテスト2024東北大会【宮城大会】[電気工事部門]
目 的	東北地区内の工業高校生の電気工事に関する技術・技能の向上と相互交流を図る。 また、高校生ものづくりコンテスト全国大会の選手選考を兼ねる。
実施期間	令和6年7月27日～28日
開催場所	株式会社ユアテック 人財育成センター
主 催	東北地区工業高等学校長会
後 援	宮城県 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 一般社団法人 日本電気協会東北支部 一般財団法人 電気技術者試験センター 株式会社ユアテック 古川電気工事協同組合 学校法人片柳学園
実 施 内 容	①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) ・平成13年の第1回高校生ものづくりコンテスト全国大会[電気工事部門]から参加を続けており、東北エリアの代表権を得るための大会を年1回実施している。 ②参加選手の構成及び参加資格要件等 ・東北6県において県の代表権を取った選手6名と開催県枠1名の計7名が出場できる。 ③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技☑) ・高校生ものづくりコンテスト全国大会の課題に準じた内容を東北大会においても行う。選手1名の個人で実施する技能競技。 ・競技時間120分で、1名で完成させる個人競技とする。 ・「競技規則」に従い、「配線図」「施工条件」に示す電気設備を想定した配線工事を行う。 ④審査方法(審査員の構成及び審査員資格要件等) ・審査員は5名で構成し、電気協会東北支部へ審判依頼をお願いする。 ・審査の基本的観点 (1)保安面から見た施工状況(2)美観を含めた施工技術(3)安全作業、作業態度 ・採点方法 (1)欠陥項目ごとの減点方式(2)審査対象は、すべての工事が完成しているもの (3)工事未完成のものは、審査対象外(4)点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格 ⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) ・1位から3位までを表彰する。表彰は、賞状とメダルとする。
参 加 者 数	競技選手人数:6名 審査員人数:3名 運営事務局人数:30名 その他:31名
支援の内容	開催経費のうち、会場費等の一部269千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 3

高校生ものづくりコンテスト2024 東北大会【宮城大会】〔電気工事部門〕

(東北地区工業高等学校長会)

実施日：令和6年7月27日～28日



表 4

項 目	内 容
支援事業名	第24回高校生ものづくりコンテスト近畿大会(電気系部門)
目 的	大会を通して工業高等学校生徒の「ものづくり」に対する意識を高め、電気・電子の技術・技能の向上を図るとともに、今後の電気・電子教育の資質向上を目指す。
実施期間	令和6年8月14日
開催場所	株式会社きんでん きんでん学園
主 催	近畿地区電気教育研究会
後 援	近畿工業高等学校長協会 大阪府教育委員会 一般財団法人電気技術者試験センター
実 施 内 容	①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 公益社団法人全国工業高等学校長協会では、各高等学校で取り組んでいるものづくりの学習効果の発表の場として、1年に一度、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会(全国大会)を企画し、過去23回実施した。本競技大会は全国大会への近畿地区代表選手の選考会である。 ②参加選手の構成及び参加資格要件等 近畿大会は、近畿地区を8ブロックに分け各ブロック内の工業を学習する高校生で予選会を実施し、各ブロック代表の8選手で近畿大会を行い、全国大会出場代表選手を決定する選考会である。 ③競技方法・競技内容 電気系部門の中の「電気工事部門」として「施工図」、「施工条件」、「電灯展開図」に示す配線工事を選択1名による指定時間内(120分)に行う技能技術競技である。 ④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 特別審査員として(株)きんでんより技術指導員1名と近畿地区の工業系高等学校で電気工事を指導する教員が審査員として9名で審査する。 ○審査の基本的観点 ・関係法令等に適合した施工方法であること。 ・美観を含めた施工状況であること。 ・安全作業、作業態度に注意して施工していること。 ○採点方法 ・工事未完成は審査対象外とする。 ・施工条件違反は審査対象外とする。 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格。 ・項目ごとの減点方式で採点し、減点の少ない者から上位とする。 ⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 1位から3位まで表彰状と盾 1位に電気材料(全国大会の練習用) 1位は高校生ものづくりコンテスト全国大会への出場資格を与える。
参 加 者 数	競技選手人数:6名 審査員人数:8名 運営事務局人数:5名 その他:22名
支援の内容	開催経費のうち、会場費等の一部146千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 4

第 2 4 回高校生ものづくりコンテスト近畿大会（電気系部門）

（近畿地区電気教育研究会）

実施日：令和 6 年 8 月 1 4 日



表 5

項 目	内 容
支援事業名	令和6年度第23回高校生ものづくりコンテスト東海大会 電気工事部門
目 的	全国工業高等学校長協会主催「高校生ものづくりコンテスト全国大会」および中央職業能力開発協会主催「若年者ものづくり競技大会」の予選を兼ねた、東海地区の4県から選抜された選手が技術・技能を競い合う大会の実施により、東海地区工業高校生のものづくり技術・技能の一層の向上を図る。
実施期間	令和6年8月24日
開催場所	株式会社トーエネック教育センター
主 催	東海地区工業高等学校長教育研究会
後 援	一般社団法人日本電設工業協会東海支部 一般社団法人愛知電業協会 一般社団法人三重電業協会 一般社団法人岐阜電業協会 一般社団法人静岡県電業協会
協 賛	株式会社トーエネック パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 株式会社ニチフ 富士電気機器制御株式会社 矢崎エナジーシステム株式会社 一般財団法人電気技術者試験センター
実 施 内 容	①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成14年から毎年開催され、今回で第23回目の大会である。東海地区に属する4県が順番で大会運営を行い、今回は岐阜県が担当。 ②参加選手の構成及び参加資格要件等 東海地区工業高等学校長教育研究会に所属する高校生による各県の予選会を実施し、各県上位2名、開催県上位3名の合計9名が参加。 ③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 電気工事 筆記競技□ 技能競技■) 第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会の競技課題に準ずる。概ね、縦1,820mm×1,820mm(床上約300mm)の垂直パネルに、「競技規則」に従い、「施工図」、および「施工条件」に示す配線工事を行う。 ④審査方法(審査員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は中部電力パワーグリッド株式会社及び株式会社トーエネックの技能五輪コーチ及び技能五輪選手経験のある6名により、審査基準に基づき審査を実施。 ・法令等の遵守、関係法令等の適合の有無 ・競技課題との相違の有無 ・作業時間、作業態度 ・持ち点100点からの減点方式 ⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 優勝、準優勝、3位(東海地区工業高等学校長教育研究会)賞状・盾 金賞、銀賞、銅賞(日本電設工業協会東海支部長賞)賞状・メダル
参 加 者 数	競技選手人数:9名 審査員人数:7名 運営事務局人数:16名 その他:30名
支援の内容	開催経費のうち、会場費等の一部163千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 5

令和 6 年度第 2 3 回高校生ものづくりコンテスト東海大会電気工事部門

(東海地区工業高等学校長教育研究会)

実施日：令和 6 年 8 月 1 4 日



表 6

項 目	内 容
支援事業名	第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会
目 的	近年、若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれている。我が国の持続的発展を維持するためには、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することが急務である。 関東甲信越地区電気教育研究会では、各高等学校で取り組んでいる、ものづくりの学習効果の発表の場として、関東地区(山梨県含む・長野と新潟は除く)高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会を企画し、過去22回実施した。
実施期間	令和6年8月24日
開催場所	神奈川県立産業技術短期大学校(西キャンパス)
主 催	関東甲信越地区電気教育研究会
後 援	関東地区工業高等学校長会 神奈川県電気工事工業組合 神奈川県教育委員会 一般社団法人神奈川県電業協会 神奈川県産業教育振興協会 一般社団法人東京電業協会 日本教育公務員弘済会神奈川支部
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実 施 内 容	①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成13年(2001年)に第1回大会が開催され、その後毎年実施している。(新型コロナウイルス感染症による中止も含む)1都7県の持ち回りで行われており、高校生ものづくりコンテスト全国大会に推薦する地区ブロックの役割を担っている。今大会は神奈川県が事務局となり本県で実施する。 ②参加選手の構成及び参加資格要件等 関東研会員校に在籍し、各都県において推薦された生徒2名(学年は問わない) ③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技☑) 競技時間:120分 競技規則に従い、施工図および施工条件に示す配線工事を行う。 ④審査方法(審査員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は、一般社団法人 神奈川県電業協会会員企業の13名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格 ⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 1位から6位までを表彰する。 ① 本大会で1位になった生徒を高校生ものづくりコンテスト全国大会へ推薦する。 ② 2位～6位の中から1名が若年者ものづくり競技大会への出場権を得られる。 (ただし、次年度出場のため、現2年生及び1年生が対象となる) 一般財団法人電気技術者試験センターより上位2名に特別賞を授与する。
参 加 者 数	競技選手人数:16名 審査員人数:14名 運営事務局人数:20名 その他:30名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部409千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 6

第 2 4 回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会

(関東甲信越地区電気教育研究会)

実施日：令和 6 年 8 月 2 4 日



表 7

項 目	内 容
支援事業名	第4回電気工事技能競技北海道大会
目 的	北海道電気工事業工業組合に所属する電気工事技術者の技術水準の向上および電気設備における保安の確保を図る、電気工事業の発展に資するため競技大会を実施する。
実施期間	令和6年9月7日
開催場所	北海道立札幌高等技術専門学院
主 催	北海道電気工事業工業組合
後 援	経済産業省北海道電気保安監督部 北海道 北海道電力ネットワーク株式会社
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実 施 内 容	①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 本事業の開催頻度は、電気工事技能競技全国大会(隔年開催)に合わせて継続実施する。開催エリアは、北海道全域とする。 ②参加選手の構成及び参加資格要件等 「一般の部(10名)」及び「女性の部(1名)」 北海道電気工事業工業組合の所属組合員のうち、第一種電気工事士または第二種電気工事士の資格所有者で、各協同組合理事長の推薦を得たもの。 「高校生の部(1名)」 全国工業高等学校長協会北海道代表校からの推薦を受けた者 ③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技■) 技能競技:電気工事技能競技全国大会の課題に準じて設定 「一般の部」競技時間180分、「女性の部」競技時間150分 「高校生の部」競技時間120分 ④審査方法(審査員の構成及び審査員資格要件等) ・審査員は第一種電気工事士の資格所有者で、外部技術審査員(北海道職業能力大学校、北海道)を含めて計5名により、審査基準に基づき審査を実施 ・特別審査員は国・北海道の2名 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象はすべての工事が完成しているもの ・審査の結果、誤結線その他重大欠陥したものは失格 ⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 「一般の部」 金賞 2名(賞状、盾):北海道知事賞 :北海道産業保安監督部長賞 銀賞 1名(賞状、盾):北海道電力ネットワーク株式会社社長賞 銅賞 3名(賞状、盾):北海道電気工事業工業組合理事長賞
参 加 者 数	競技選手人数:12名 審査員人数:17名 運営事務局人数:57名 その他:144名
支援の内容	開催経費のうち、会場費等の一部1,951千円を支援

表 7

第 4 回電気工事技能競技北海道大会

(北海道電気工事業工業組合)

実施日：令和 6 年 9 月 7 日



表 8

項 目	内 容
支援事業名	第4回電気工事技能競技東北大会
目 的	東北七県電気工事組合連合会に所属する電気工事技術者が、電気工事に於ける技術と保安の力量・品質を更に向上させるとともに、次世代を担う若者に電気工事の素晴らしさを体感する場を創出することにより、東北に於ける電気工事業界の存在を広く理解して頂くことを目的とする。また、全日本電気工事業工業組合連合会が主催する「第5回電気工事技能競技全国大会（令和6年11月28日開催）」の東北七県ブロック大会の位置付けとして開催する。
実施期間	令和6年10月12日
開催場所	ポリテクセンター宮城
主 催	東北七県電気工事組合連合会
後 援	経済産業省 関東東北産業保安監督部東北支部 東北電力ネットワーク株式会社
協 賛	一般財団法人 電気技術者試験センター 株式会社 トベ 岡田電気産業株式会社 ミツワ電機株式会社 パンフレット広告掲載協力会社:41社 パナー広告協力会社30社以上
実 施 内 容	①大会競技の開催方法（開催頻度、継続事業、開催エリア等） 平成30年度を第1回とし、隔年での集合開催を予定している大会である。コロナウイルス感染症防止の観点から、第2回は中止、第3回は各県での分散開催となったが、今年度以降は、再び集合開催となる。 ②参加選手の構成及び参加資格要件等 東北七県の各県電気工事（業）工業組合に所属する組員3,279社（組員企業の従業員を含む）で、第一種電気工事士または第二種電気工事士の有資格者であり、各県電気工事（業）工業組合理事長の推薦を受けた者による。選手数は、7名（各県工組より1名）とする。また、当連合会理事長の推薦を受けた「第5回電気工事技能競技全国大会」女性の部に出場する者を1名含め、全体で8名とする。 ③競技方法・競技内容 a.学科競技：試験時間は、30分とする。 ・第二種電気工事士筆記試験相当の設問（4者択一方式及び直接回答方式）を15問程度出題。但し、施設方法、法規等実施に沿った問題とし電気理論などについては出題しない。 ・下記のうちから文章問題（文章穴埋め択一選択式）を1問出題 i.現在業界の問題となっている事項や全日電工連が取り組んできた事業に関する設問 ii.危険予知、安全作業に関する設問 iii.その他関連する事項についての設問 b.技能競技（実技）：競技時間は一般の部180分、女性の部は150分とし、競技方法は以下のとおり。 ・選手1名により課題に基づき競技パネル（幅1820mm×高さ1820mm）に屋内配線、情報通信工事を完成させる。 ・課題は、「第5回電気工事技能競技全国大会」の課題に準ずる。 ④審査員（審査員の構成及び審査員資格要件等） a.審査員5名（職業能力開発総合大学校とポリテクセンター宮城の学識経験者） b.競技委員3名（第4回電気工事技能競技東北大会実行委員会競技部会のうち3名） ⑤審査方法（審査の基本的視点・採点方法） a.作業の安全・品質面（一人KY活動、指差呼称、服装、整理・整頓） b.施工技術（完成時間、美観、欠陥項目毎の減点） c.工事未完、点灯試験結果不良は審査対象外 ⑥表彰（表彰構成、表彰賞品等） 個人表彰とし、成績優秀な者に下記の通り、賞を授与する。 一般の部 金 賞 1名（表彰状、副賞） 銀 賞 1名（表彰状、副賞） 銅 賞 1名（表彰状、副賞） 女性の部 （副賞）
参 加 者 数	競技選手人数:8名 審査員人数:5名 運営事務局人数:18名 その他:90名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部1,339千円を支援

第 4 回電気工事技能競技東北大会

(東北七県電気工事組合連合会)

実施日：令和 6 年 1 0 月 1 2 日



表 9

項 目	内 容
支援事業名	第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門
目 的	公益社団法人全国工業高等学校長協会で行っている高校生ものづくりコンテストの電気工事部門で、全国9地域から選抜された9名と開催県代表の1名を加えた10名が技術・技能を競い合い、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、及び若年技術者の育成を図ることを目的とする。
実施期間	令和6年11月9日～10日
開催場所	宮城職業能力開発促進センターポリテクセンター宮城
主 催	宮城県登米総合産業高等学校
後 援	東北地区工業高等学校長協会
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
実 施 内 容	①大会競技の開催方法(開催頻度、継続事業、開催エリア等) 平成11年から毎年で実施している大会(令和2年度のみ中止)であり、ブロックごとに順番で開催地を設定として大会運営に当たる。今回2024年の大会は東北地区が担当であり、宮城県で実施する ②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国で決められた9地区に属する都道府県で予選を行い、勝ち上がった選手がさらに地区大会を経て選抜された1名の代表による。また、開催県(今回は宮城県)については開催県枠があるため、県大会を勝ち上がった1名がこの大会に出場する。 ③競技方法・競技内容 競技内容(競技種目 筆記競技□ 技能競技☑) 技能競技:第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会(電気工事部門)に準じて設定。競技時間120分。「競技規則」に従い、「施工図」、「施工条件」に示す電気設備の施工を想定した配線工事を行う。 ④審査方法(審査委員の構成及び審査員資格要件等) 審査員は、外部技術審査員(株式会社ユアテックの技術者)3名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格 ⑤表彰(表彰構成、表彰賞品等) 第1位から第3位までを表彰(賞状、盾、メダルの授与)
参 加 者 数	競技選手人数:10名 審査員人数:3名 運営事務局人数:42名 その他:88名
支援の内容	開催経費のうち、会場費等の一部480千円を支援
その他	試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与

表 9

第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門

(宮城県登米総合産業高等学校)

実施日：令和6年11月9日～10日

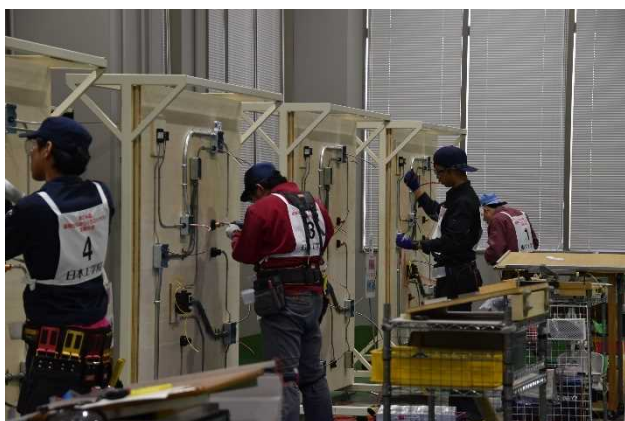
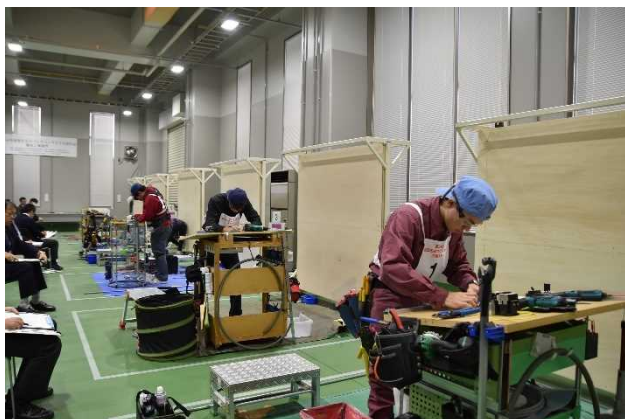


表 10

項 目	内 容
支援事業名	第5回電気工事技能競技全国大会
目 的	全日本電気工事業工業組合連合会(以下、全日電工連)に所属する電気工事技術者を中心とし、その電気工事技術者の資質ならびに技術水準の向上を通じ、お客様満足と安全・安心に電気をお届けするための電気保安の確保を担う電気工事業界の発展に寄与すること、並びに女性電気工事士の活躍の場を広げ男女共同参画社会の実現に寄与すると共に、電気工事業界の将来の担い手育成、入職促進、および教育活動の振興の一助とすることを目的とする。
実施期間	令和6年11月27日～28日
開催場所	横浜アリーナ
主 催	全日本電気工事業工業組合連合会
後 援	経済産業省 国土交通省 文部科学省 神奈川県教育委員会 横浜市 公益社団法人全国工業高等学校長協会
協 賛	一般社団法人日本電気協会 一般財団法人電気技術者試験センター 一般財団法人電気工事技術講習センター 全日本電設資材卸業協同組合連合会 株式会社アイチコーポレーション 因幡電機産業株式会社 河村電器産業株式会社 共立電気計器株式会社 サン電子株式会社 DXアンテナ株式会社 テンパール工業株式会社 東芝ライテック株式会社 東神電気株式会社 株式会社西田製作所 ニチコン株式会社 株式会社ニチフ 日東工業株式会社 ネグロス電工株式会社 パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 パンドウイットコーポレーション日本支社 マサル工業株式会社 三菱電機株式会社 ミツワ電機株式会社 一般社団法人全国設備業DX推進会 株式会社アサヒプリンティング 損害保険ジャパン株式会社 住友生命保険相互 会社 大樹生命保険株式会社 オリックス自動車株式会社 東芝保険サービス株式会社 情報システム・J・T株式会社 株式会社オーム社 東武トップツアーズ株式会社 株式会社全日出版社 株式会社全日電工連総合サービス 団体・企業 35
	①大会競技の開催方法 本全国大会は、本年度が第5回の実施であるが、今後も技術の継承と電気保安確保の観点より、継続実施を計画している。なお、開催地については、当分の間、東京での開催を計画しているが、地方ブロックでの開催も計画している。 ②参加選手の構成及び参加資格要件等 一般の部 全日電工連の所属組合員(組合員企業の従業員を含む。)で、第一種電気工事士又は第二種電気工事士の有資格者であり、各電気工事(業)工業組合(以下、各電工組)の理事長(ブロック連合会加算枠出場者)にあつては、ブロック電気工事組合連合会 会長(理事長))の推薦を受けた者。非組合員で、かつ、第一種電気工事士又は第二種電気工事士の有資格者も参加を可とした。 女性の部 全日電工連の所属組合員(組合員企業の女性従業員を含む。)で、第一種電気工事士又は第二種電気工事士の有資格者であり、ブロック電気工事組合連合会 会長(理事長)の推薦を受けた者。非組合員で、かつ、第一種電気工事士又は第二種電気工事士の有資格者も参加を可とした。 高校生の部 (公社)全国工業高等学校長協会(以下、全工協会)会員校に在籍している生徒であること。全工協会が組織する全国9つある地区校長協会から推薦された者。

実施内容	③競技方法・競技内容 a.学科競技 実施日:11月27日(水)※非公開 一般の部(30分)、女性の部(30分) a.第二種電気工事士試験相当の中から施工方法、配線図及び図記号、法規・法令等実務に沿った設問(四者択一方式及び記述式)を出題(設問数は15問以内) b.下記のうちから、文章問題(文章穴埋め択一選択式)を1問出題 i.現在業界の問題となっている事項や全日電工連が取り組んできた事業に関する設問 ii.危険予知、安全作業に関する設問 iii.その他関連する事項についての設問 高校生の部(30分) a.第二種電気工事士試験相当の設問(四者択一方式等)、電気工事sの業務にかかわる設問 b.『電気工事現場スタートブック』(全日電工連発刊)の内容に関する設問 ※a.b.より合計10問程度出題 ※b.の冊子は全日電工連より事前配布をした b.技能競技(実技)(180分) 実施日:11月28日(木)※公開 全部門共通 a.競技方法 選手1名により課題に基づき競技パネル(幅1820mm×高さ1820mm)に作品を完成させる。 b.課題 課題は、事前公表(2024年4月～5月)、並ぶに最終公表(2024年10月末)を行った。 一般の部(180分) 当日に軽微な課題変更を行った。 女性の部(150分)、高校生の部(120分) 当日の課題変更はなしとした。 ④審査方法 技術基準への適合性について確認した。公平を期するため、組合関係ではなく、外部の学識経験者・有識者で構成する審査委員により、技能競技委員会審査部会(委員構成:審査員他)で定めた採点に係る基準(採点項目・採点方法)に基づき採点し、順位を決定した。 ⑤表彰 一般の部 経済産業大臣賞 金賞1名 ※金賞受賞者には「JAPAN e SKILL CHAMPION」の名誉ある称号を贈呈 ※最優秀成績者(=金賞受賞者)に対して経済産業大臣賞を贈呈 銀賞2名、銅賞3名、敢闘賞4名 安全作業大賞1名※(一社)日本電気協会より、安全作業面の最優秀者に対して贈呈 女性の部 国土交通大臣賞 金賞1名 ※金賞受賞者には「JAPAN e SKILL LADY'S CHAMPION」の名誉ある称号を贈呈 ※最優秀成績者(=金賞受賞者)に対して国土交通大臣賞を贈呈 銀賞1名、銅賞1名 高校生の部 文部科学大臣賞 金賞1名 ※金賞受賞者には「JAPAN e SKILL JUNIOR CHAMPION」の名誉ある称号を贈呈 ※最優秀成績者(=金賞受賞者)に対して文部科学大臣賞を贈呈 銀賞1名、銅賞1名
参加者数	競技選手人数:一般の部53名、女性の部9名、高校生の部9名 審判員人数:審査員28名、技能競技委員21名、競技員40名 その他:来賓99名、協賛企業等192名、教育機関291名、報道19名、組合関係1,881名、当日受付78名
支援の内容	開催経費のうち、設営・機材費等の一部2,000千円を支援

表 10

第5回電気工事技能競技全国大会

(全日本電気工事業工業組合連合会)

実施日：令和6年11月27日～28日

